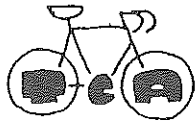


TCAの合言葉 ①自転車で風を追いかけよう ②健康と友情の輪をひろげよう ③道と自然と文化に親しもう



T C A ニ ュ ー ス

= 1994年6月発行 = 【No. 85】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒110 東京都台東区上野3-8-8 ☎03-3833-3969

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しみ ②行楽・旅を楽しみ ③道楽・道を楽しみ ④友楽・友を楽しみ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

* 関東甲信越ブロックサイクリングラリー東京大会へ どんどん参加のお申し込みを！！

今年10月22日(土)23日(日)は、TCAが主管する「第30回関東甲信越ブロックサイクリングラリー東京大会」です。先月お届けしたニュースのなかに、その実施要綱と参加申込を同封いたしました。これを参照して、申込書に必要事項をご記入の上、参加費を添えて協会事務局までどんどん参加のお申し込みをして下さい。申込み締め切りは8月15日です。

* 役員としても協力して下さい！

ところで、今回の大会には、約60人の方に役員としてお手伝いしていただくことにしております。既に一部の方には、お手紙を差し上げて役員になっていただくようお願いなどもしております。貧乏な協会の大事な仕事になります。どうか10年に一度のイベントでありますので、友情を発揮してお手伝い下さるようお願いいたします。役員になってくださる方は、参加申込書の欄外にその旨お書き添えの上、参加費を添えて協会事務局までお送り下さい。また、電話連絡でも結構です。

* 暑からず寒からずの好天に恵まれ 第9回視覚障害者とタンデムを楽しむ集い

6月5日(日)は、第9回視覚障害者とタンデムを楽しむ集い。定刻午前10時前、都盲協の笹原吉彦会長を先頭にタンデムクラブの会員13人が付き添いの方とともに神宮外苑に姿を現わしました。さっそく、みんな元気に走り出しました。この日は暑からず寒からずの好天に恵まれ、タンデム車の前後では話が弾みます。

今回が初めてという方が4人、その一人・藤田悟郎さんは、下嶋隆さんの後ろに乗ってひた走り。一時間近くも夢中になって乗り続け、自転車がかんな楽しいものだとは知りませんでしたと大喜び。また、7回参加のベテラン・豊田悠子さんは三輪車に乗り、ランニングで伴走する鈴木茂夫さんの誘導で、落ち着いたハンドルさばきをみせました。

果嶋在住の堅場道子さんは、たくさんのゆで卵を持参、同乗するサイクリストのエネルギー補給にとプレゼントしてくれて人気を呼んでいました。

前회가初体験で緊張した田中好男さんは、すっかりペダリングがさまになってきました。正午、みんながほどよく疲れて解散。TCA参加者は、都盲協から恒例の感謝状と交通費を頂戴。日本青年館でそろって昼食を食べながら歓談。流れ解散となりました。

* TCA参加者

寺井国雄・茅野 純・下嶋 隆・会津道夫・松下文治郎・松下真佐子・橋本 豊・藤田伸一
石黒 実・中村洋一郎・北川常夫・池田 幸・高木恵子・鈴木茂夫

この次の「第10回視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」は11月6日(日)に開催します。

94 関東ふれあいタンデムサイクリング大会

栃木県サイクリング協会の主催による「94 関東ふれあいタンデムサイクリング大会」が、快晴に恵まれた5月22日（日）、栃木県渡良瀬遊水池で開かれました。この大会は視覚障害者にサイクリングの楽しさを味わってもらおうというもので、今年で五回目の企画。

関東各県から50人の視覚障害者を招き、各都県サイクリング協会からの応援をはじめ、ボランティア約400人が支援体制を固め、広い遊水池を周回しました。

参加者の中の最高齢の70歳になる栃木県視覚障害者福祉協会の会長坂本啓さんは、「ペダリングで創り出す風の爽やかさが、すてきです」と話していました。

東京からは都盲協から6人、TCAからは、茅野純、永井英次、河本久、岡村松夫のみなさんが参加しました。以下は茅野さんのレポートです。

澄みわたった春の一日…

茅野 純

*

- 「イヤー渡良瀬遊水池って広いなあ。これはすみません、一人で感心してはダメですね。
エーと、つまり向こう岸に人がいるんですが、豆つぶぐらいの大きさです。左手が湖で、ウインド・サーフィンをやってますヨ。こいつは水上スポーツなんですがね… ウーンと、そう、大きな張り板に背丈の二倍ぐらいのビニール製の帆をたてて、その帆柱をつかんで、立って張り板に乗かって、水面を風に吹かれて走ってゆくんですヨー
気持ち良さそうだなー」
- 「立ったままで!？」
- 「そうそう、立ったままで!一つかれるでしょうね。いやたおれないようにするのに精いっぱいかな。われわれは座ってペダルをふんでいるだけですかな」
- 「左からの風が気持ちがいいワ。来て良かった!一遠いからどうしようかと思ったのヨ。東京の風とは質が違うわね」
- 「暑いけどね暑さを吹きとぼしてくれますよね。水を渡ってくる風はさわやかでいいですね」

東京から出かけたわれわれは、東京の視覚障害者と組んで一周7.5 kmのコースを走ります。地元高校生のボランティアもタンデムのあとに3~4人ずつ伴走してくれて、なかなかのサイクリング。なじみの神宮のコースとは少し勝手が違い、説明に苦労しましたが、大変ゆかいなサイクリングでした。夕方の別れぎわにボランティアの高校生が云いました。

「明日から定期試験なんだ。でも今日は試験勉強するより良いことをしたと思った。障害者の人がとても喜んでくれて嬉しかったんだ」

きれいに澄みわたった春の一日でした。

